

令和6年度分

泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

PDCA サイクル 進捗管理シート

令和 6 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	① 安定した雇用を創出する
基本的方向	しごとの創生
具体的施策	③地域産業の競争力強化
事業名	エリアマネジメント活動推進事業
事業概要	【最終予算額： 45,741,000円】 【決算額： 36,512,838円】
	泉佐野市の中心市街地の活性化を図るため、中心市街地のエリアマネジメントの推進と、女性等の社会進出のサポートを通じた中心市街地エリアにある遊休不動産の活用、商店街への人が集う仕組みの構築、商店街をはじめとする中心市街地の再生に取り組むもの。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 遊休不動産を活用して新たに事業開始した件数									
		KPI： 5年後に13件（10件の増加）									
		現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	2件	6件	8件	10件	11件	13件			
		実績値	3件	6件	12件	20件	29件		累計	↑	
		達成度	150.0%	100.0%	150.0%	200.0%	263.6%				
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		中心市街地エリアの遊休不動産解消件数が、中心市街地の活性化に直結するものと考えているため					中心市街地エリア内にある遊休不動産で、大幅な改修工事を必要としない物件の件数（132件）のうち、活用できる物件の1割を設定				
		②目標事項： 女性等の社会進出支援人数									
		KPI： 5年後に150人									
		現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	10人	60人	80人	100人	120人	150人			
		実績値	0人	108人	146人	169人	187人		累計	↑	
		達成度	0.0%	180.0%	182.5%	169.0%	155.8%				
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
女性等の非労働力人口から労働人口へ移行した人数は、地域経済への貢献度を示す数値と考えているため					単年度の支援（セミナー等の参加など）人数：40人の半数を目標として社会進出支援につなげることを目標に設定						
③目標事項：											
KPI：											
現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和6年度	評価(C)	【6年度評価】									
		担当課評価	中心市街地等の活性化を図るために、遊休不動産を活用した起業や新規開店を促し、9件の成果を得た。また、起業希望の女性をターゲットとしたセミナーやワークショップを積極的に行い、のべ18名が参加し、うち9名は新規出店に至った。								
	改善(A)	【7年度における取り組みなど】									
		昨年に引き続き、空き店舗等活用型新事業創出支援補助金の申請受付・審査を行い、中心市街地等の活性化を図る。また、R7より運営を開始するさの町場に位置する「甘味茶房さのまち庵」を活用し、女性の社会進出を推進するため、ワークショップやコーチングを昨年同様に行い、対象者同士やこれまでの参加者も含めたコミュニティ形成もめざしていく。									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	まちの活性課																																
基本目標	① 安定した雇用を創出する																																	
基本的方向	しごとの創生																																	
具体的施策	④就労支援																																	
事業名	地域就労支援事業																																	
事業概要	【最終予算額：12,724,000円】 【決算額：12,352,399円】 働く意欲がありながら雇用や就労を実現できない就職困難者等に対し、地域就労支援事業の活用、相談、資格取得講座への誘導等を行い、一人でも多くの就労の実現に向けて支援をする。																																	
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 就労相談を受けた就労希望者及び市実施就労支援事業参加者のうち就労に結びついた就労者数 KPI： 年間25人																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>25人</td> <td>25人</td> <td>25人</td> <td>25人</td> <td>25人</td> <td>25人</td> <td rowspan="3">→</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>14人</td> <td>24人</td> <td>19人</td> <td>28人</td> <td>30人</td> <td rowspan="2">単年度計</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>56%</td> <td>96%</td> <td>76%</td> <td>112.0%</td> <td>120.0%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	25人	25人	25人	25人	25人	25人	→		実績値	14人	24人	19人	28人	30人	単年度計	達成度	56%	96%	76%	112.0%	120.0%	
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																								
		目標値	25人	25人	25人	25人	25人	25人	→																									
		実績値	14人	24人	19人	28人	30人	単年度計																										
		達成度	56%	96%	76%	112.0%	120.0%																											
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠 就労支援事業の最終目標は、就職困難者、就労希望者等を就労に結びつけることであることから、当該成果指標とした。	経済情勢の影響が大きいため、一定数確保することを目標とする。																														
		②目標事項： 自治体主体の公式求人サイトに登録した求職者のうち登録のあった事業所への就業件数 KPI： 3年後に9,288件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2,160件</td> <td>5,400件</td> <td>9,288件</td> <td rowspan="3">↗</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,887件</td> <td>4,947件</td> <td rowspan="2">累計</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>87.4%</td> <td>91.6%</td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	—	—	—	2,160件	5,400件	9,288件	↗		実績値	—	—	—	1,887件	4,947件	累計	達成度	—	—	—	87.4%	91.6%
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																								
		目標値	—	—	—	2,160件	5,400件	9,288件	↗																									
実績値	—	—	—	1,887件	4,947件	累計																												
達成度	—	—	—	87.4%	91.6%																													
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠 求職者と、人材確保や業務効率化を求める地域企業を繋ぎ、柔軟な働き方による眠れる労働力を掘り起こすことを目標に、当該成果指標とした。	経済情勢の影響が大きいため、求職者及び事業所の一定数確保を行い、安定した運用を目標とする。																																
③目標事項：	KPI：																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度							KPI設定の根拠	
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																										
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠		KPI目標数値の積算根拠																																
令和6年度	評価（C）	【6年度評価】	担当課 評価 B 市内3か所にある地域就労支援センターにおいて実施している就労相談からの就職件数は前年より増加した。市実施就労支援事業参加者のうち就労に結びついた就労者数については、前年度は28人、今年度は30人と増加した。 また、令和5年度より開始したデジタル技術を活用した1日単位で就労可能な自治体主体の公式求人サイトにおいては、柔軟な働き方を求める求職者と人材確保や業務効率化を求める市内企業を繋ぎ、短期単発へのニーズに対応し、従来からの長期雇用への支援とともに安定した雇用を創出することができた。																															
		改善（A）		【7年度における取り組みなど】 相談者の状況に応じた、きめ細やかな支援ができるメニューを提供していく。																														
		委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会 評価																															

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	まちの活性課																																
基本目標	① 安定した雇用を創出する																																	
基本的方向	人材還流・人材育成																																	
具体的施策	⑤人材育成・雇用機会の拡充																																	
事業名	外国人受入環境整備事業																																	
事業概要	【最終予算額：32,554,000円】 【決算額：32,107,458円】																																	
	市内在住する外国人材の労働環境及び日常生活における多文化共生社会の実現に向けたワンストップ相談窓口の設置、及び人材不足が喫緊の課題となっている業種への優良な外国人材の確保・育成を通じた雇用マッチング、地域社会の交流支援などを実施するもの。																																	
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 外国人就労者あっせん数																																
		KPI： 5年後に60人																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>20人</td> <td>30人</td> <td>40人</td> <td>50人</td> <td>60人</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">↗</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4人</td> <td>13人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10.0%</td> <td>26.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	—	20人	30人	40人	50人	60人	累計	↗	実績値	—	—	—	4人	13人		達成度	—	—	—	10.0%	26.0%	
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																								
		目標値	—	20人	30人	40人	50人	60人	累計	↗																								
		実績値	—	—	—	4人	13人																											
		達成度	—	—	—	10.0%	26.0%																											
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		日常生活を安心して営むにおいて、外国人材の雇用を確保できたか判断するに当たっての指標と考えるため	1年間に10人以上のあっせんを目標として事業設計を行っていることより																															
		②目標事項： 施設の利用者数																																
KPI： 5年後に750人																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>150人</td> <td>300人</td> <td>450人</td> <td>600人</td> <td>750人</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">↗</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>274人</td> <td>1,258人</td> <td>2,801人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>91.3%</td> <td>279.6%</td> <td>466.8%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	—	150人	300人	450人	600人	750人	累計	↗	実績値	—	—	274人	1,258人	2,801人		達成度	—	—	91.3%	279.6%	466.8%			
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																										
目標値	—	150人	300人	450人	600人	750人	累計	↗																										
実績値	—	—	274人	1,258人	2,801人																													
達成度	—	—	91.3%	279.6%	466.8%																													
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
外国人材の相談者数は多文化共生社会の実現に向けた課題を早期発見する場所として、外国人材からの拠点の認知度と、外国人材の相談内容を通じて、必要な施策を展開や制度の創設が発掘でき、本事業の目的を達成するのに必要な指標であると考えため	初年度は施設稼働日数の半分を目標としており、その後同数以上の利用者数の増加を目標に事業設計しているため																																	
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度								
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																										
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
令和6年度	評価（C）	【6年度評価】																																
		担当課評価																																
		C 外国人就労者のあっせんは困難な状況が続いているが、R6年度は年間目標値に近い9件の実績となった。 外国人就労者に関するワンストップ相談窓口については、R6年度は1,543人から1,576件の相談をうけ、順調に役割を果たしている。																																
改善（A）	【7年度における取り組みなど】																																	
	コロナ禍の影響が落ち着き、外国人就労者への需要が増大することが予測されるため、今後のニーズの的確に対応し、市内事業者と外国人就労者とのマッチングやワンストップ相談窓口対応をさらに充実させていく。																																	
委員会意見	【評価等に対する意見】																																	
	委員会評価																																	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	子育て支援課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実	
具体的施策	①安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	
事業名	幼児教育・保育	
事業概要	【最終予算額：3,511,418,000円】 【決算額：3,446,812,843円】 教育または保育を必要とする児童に対し、質の高い教育・保育を行い、待機児童数ゼロを堅持する。	

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 待機児童数										
		KPI： 毎年待機児童数0を堅持										
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	0人	0人	0人	0人	0人	0人	単年度計	→	各年度4月1日時点	
		実績値	0人	0人	0人	0人	0人					
		達成度	100%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		「泉佐野子ども未来総合計画」（令和2～6年度）に基づき、幼児教育・保育の「量的確保」（待機児童の解消に向けた保育の受け皿の確保等）及び「質の向上」（職員の配置及び処遇改善）を行い、子育て世帯がどこでも必要な時に利用できる子育てしやすい環境整備の指標となります。										
		②目標事項：										
		KPI：										
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値										
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
③目標事項：												
KPI：												
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値												
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							
令和6年度	評価（C）	【6年度評価】										
		担当課評価	令和元年10月から幼児教育・保育の無償化（3～5歳児）が開始されたことと同時に、市単独事業として給食費の無償化を開始している。また、上記無償化に伴って私立幼稚園就園奨励費補助金、助成金が廃止されたことにより、教育費の負担が増加する所得階層の世帯には、負担軽減補助金を支給している。これに加え、令和5年4月から保育所・認定こども園等に通う0～2歳児の第2子保育料を市単独で無償化している。保育を必要とする保護者からは、申し込みにより、入所判定会議を経て入所児童を決定し、保育料の決定、徴収を行い、保育を実施する。 (令和6年度実績) 待機児童数 0件 (令和5年度実績) 待機児童数 0件 (令和4年度実績) 待機児童数 0件 (令和3年度実績) 待機児童数 0件									
	改善（A）	【7年度における取り組みなど】 引き続き、待機児童数ゼロを堅持する。										
	委員会意見	【評価等に対する意見】										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	学校教育課
----------	-----	-------

基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本的方向	学校教育の充実
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進
事業名	ICT活用教育推進事業
事業概要	【最終予算額：62,493,000円】 【決算額：60,585,906円】 市内小中学校にPC端末等の環境の整備を行うとともに、教職員がICT機器の特性を理解し、授業において効果的に活用することができる環境をつくることで、子どもたちがよくわかる授業づくりと学力の定着・向上をめざす。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 授業におけるPC端末の月平均利用回数																																			
		KPI： 5年後に、平均20回以上/月																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>12回</td> <td>14回</td> <td>16回</td> <td>18回</td> <td>20回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>-</td> <td>14.2回</td> <td>14.9回</td> <td>15.4回</td> <td>16.2回</td> <td></td> <td rowspan="2">↑</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>-</td> <td>118.3%</td> <td>106.4%</td> <td>96.3%</td> <td>90.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	-	12回	14回	16回	18回	20回			実績値	-	14.2回	14.9回	15.4回	16.2回		↑		達成度	-	118.3%	106.4%	96.3%	90.0%		
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																								
		目標値	-	12回	14回	16回	18回		20回																												
		実績値	-	14.2回	14.9回	15.4回	16.2回		↑																												
		達成度	-	118.3%	106.4%	96.3%	90.0%																														
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																		
		校内通信ネットワーク環境と1人1台端末の利用状況を把握することで、市内の小中学校におけるICT活用の推進、及び、児童・生徒がわかる授業づくりと学力の定着・向上を図っているかの指標になると考えるため。	令和元年度、教員のICT活用指導力の実態調査における、項目「学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能を児童生徒が身につけることができるよう指導できる」64%、を規準に設定した値																																		
		②目標事項：																																			
		KPI：																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度							
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																													
目標値																																					
実績値																																					
達成度																																					
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																				
③目標事項：																																					
KPI：																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度									
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																										
目標値																																					
実績値																																					
達成度																																					
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																				

令和6年度	評価(C)	【6年度評価】			
		<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>令和3年度から、中学校においてプログラミング教育が必修となったことから、国の事業も活用し、教材の提供や教職員への研修を実施した。 また、1人1台ICT端末と校内通信ネットワーク環境の整備とともに、教職員のICT端末の活用能力の向上や情報モラルやデジタル・シチズンシップ教育、プログラミング教育・メディアリテラシーの推進を図り、児童生徒の学力、情報活用能力の向上のための取り組みができた。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	令和3年度から、中学校においてプログラミング教育が必修となったことから、国の事業も活用し、教材の提供や教職員への研修を実施した。 また、1人1台ICT端末と校内通信ネットワーク環境の整備とともに、教職員のICT端末の活用能力の向上や情報モラルやデジタル・シチズンシップ教育、プログラミング教育・メディアリテラシーの推進を図り、児童生徒の学力、情報活用能力の向上のための取り組みができた。	B
	担当課評価	令和3年度から、中学校においてプログラミング教育が必修となったことから、国の事業も活用し、教材の提供や教職員への研修を実施した。 また、1人1台ICT端末と校内通信ネットワーク環境の整備とともに、教職員のICT端末の活用能力の向上や情報モラルやデジタル・シチズンシップ教育、プログラミング教育・メディアリテラシーの推進を図り、児童生徒の学力、情報活用能力の向上のための取り組みができた。			
	B				
改善(A)	【7年度における取り組みなど】				
	ICT端末の活用能力の向上や情報モラル教育やデジタル・シチズンシップ教育等の推進を図るため、教職員の連絡会や研修を通じて実践事例を積み上げ、各学校の取り組みの交流を進めていく。 ICT関連企業等の教職員向け研修や児童生徒向け及び保護者対象のプログラムを活用し、ICT端末の効果的な活用方法を探る。				
委員会意見	【評価等に対する意見】				
	委員会評価				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	学校教育課																																		
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる																																			
基本的方向	学校教育の充実																																			
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進																																			
事業名	泉佐野市の未来を創る教育事業																																			
事業概要	【最終予算額：2,908,000円】   【決算額：2,902,401円】 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、重点支援小学校への支援策として「学力向上アドバイザー」を配置するなど、市域全体の学力向上を図る。																																			
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 全国学力・学習状況調査（小学校 算数）平均正答率の差																																		
		KPI： 5年後に全国平均正答率との差が1.5																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>3.1</td> <td>2.9</td> <td>2.7</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td rowspan="3">↓</td> <td rowspan="3">第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1.6</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>3.5</td> <td>3.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>193.75%</td> <td>131.81%</td> <td>122.72%</td> <td>71.42%</td> <td>58.82%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	3.1	2.9	2.7	2.5	2.0	1.5	↓	第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0	実績値	1.6	2.2	2.2	3.5	3.4		達成度	193.75%	131.81%	122.72%	71.42%	58.82%			
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	3.1	2.9	2.7	2.5	2.0		1.5	↓	第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0																									
		実績値	1.6	2.2	2.2	3.5	3.4																													
		達成度	193.75%	131.81%	122.72%	71.42%	58.82%																													
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
		全国学力・学習状況調査（小学校 算数）の結果において、全国平均に近づくことにより、児童の算数の学力向上が図られているかが分かる指標となるため。	【参考】R1全国66.6、市65（差1.6） 総計によりR5が2.5、R10が0の差になる設定 R5以降は均等割により年0.5ずつ差を詰める R3、R4は年0.2ずつ差を詰める																																	
		②目標事項： 全国学力・学習状況調査（小学校 国語）平均正答率の差																																		
KPI： 5年後に全国平均正答率との差が1.5																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>3.7</td> <td>3.5</td> <td>3.0</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td rowspan="3">↓</td> <td rowspan="3">第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4.8</td> <td>4.7</td> <td>3.6</td> <td>5.2</td> <td>4.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>77.08%</td> <td>74.46%</td> <td>83.33%</td> <td>48.07%</td> <td>42.55%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	3.7	3.5	3.0	2.5	2.0	1.5	↓	第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0	実績値	4.8	4.7	3.6	5.2	4.7		達成度	77.08%	74.46%	83.33%	48.07%	42.55%					
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値	3.7	3.5	3.0	2.5	2.0		1.5	↓	第5次泉佐野市総合計画 R10全国平均正答率との差が0																											
実績値	4.8	4.7	3.6	5.2	4.7																															
達成度	77.08%	74.46%	83.33%	48.07%	42.55%																															
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
全国学力・学習状況調査（小学校 国語）の結果において、全国平均に近づくことにより、児童の国語の学力向上が図られているかが分かる指標となるため。	【参考】R1全国63.8、市59（差4.8） 総計によりR5が2.5、R10が0の差になる設定 R5以降は均等割により年0.5ずつ差を詰める R3、R4も年0.5ずつ差を詰める																																			
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
令和6年度	評価（C）	【6年度評価】 担当課 評価 C 月に一度の学力向上担当者会において、情報共有の時間を設定し、好事例の発信、共有を進めた。さらに各校において取り組みが進むよう、学力向上アドバイザーと学力支援コーディネーターの派遣を積極的に行い、教職員の指導力の向上を図った。また、他の事業で推進している「放課後学習」や「算数サポート」の事業も活用し、市域全小中学校の児童・生徒の学力向上へのアプローチを行った。																																		
	改善（A）	【7年度における取り組みなど】 SE事業のモデル校を中心に、取り組みの様子と過程を市域に積極的に発信していく。また、各モデル校の学校公開時により多くの教職員が積極的に参加できるような手立てを講じたり、学力向上アドバイザー・学力支援コーディネーター・ICT教育推進アドバイザーの派遣を積極的に行ったりしていく。 他の事業で推進している「放課後学習」や「算数サポート」の事業も並行して進め、市域全小中学校の児童生徒の学力向上につなげていく。																																		
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会 評価																																		

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	学校教育課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	学校教育の充実	
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進	
事業名	家庭への支援事業（スクールカウンセラー等による相談）	
事業概要	【最終予算額：43,299,000円】 【決算額：37,139,335円】 いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期解決に向けた体制の強化を図るため、スクールカウンセラーを教育支援センター「さわやかルーム」「シャイン」に1名ずつ、スクールソーシャルワーカーを各中学校区に1名配置する。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 不登校児童生徒の内、学校内外で相談・指導等を受けていない児童・生徒の割合																														
		KPI： 不登校児童生徒の内、学校内外で相談・指導等を受けていない児童・生徒の割合30%を下回らせる																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>38.3%</td> <td>36.0%</td> <td>33.0%</td> <td>30.0%</td> <td rowspan="3">単年度計</td> <td rowspan="3">↓</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td>45.9%</td> <td>32.9%</td> <td>36.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td>83.4%</td> <td>109.4%</td> <td>90.9%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値		38.3%	36.0%	33.0%	30.0%	単年度計	↓		実績値		45.9%	32.9%	36.3%		達成度		83.4%	109.4%	90.9%	
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																			
		目標値		38.3%	36.0%	33.0%	30.0%		単年度計	↓																						
		実績値		45.9%	32.9%	36.3%																										
		達成度		83.4%	109.4%	90.9%																										
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																													
		令和4年度、本市の小中学生の不登校児童・生徒の内、学校内外で相談・指導等を受けていない児童・生徒の割合は45.9%、全国では38.3%である。本市の状況は全国に比べて高い値となっている。全国・府共にこの割合の低下を目標として取り組んでおり、本市においても同様である。そのため、本事業を進め、令和7年度に30%を下回れるように目標を設定する。	令和4年度、不登校児童生徒の内、学校内外で相談・指導等を受けていない児童・生徒の割合 本市：45.9% 大阪府：49.5% 全国：38.3% 毎年、3%ずつ減少させる。																													
		②目標事項：																														
		KPI：																														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">単年度計</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値						単年度計			実績値						達成度					
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																								
目標値									単年度計																							
実績値																																
達成度																																
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
③目標事項：																																
KPI：																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">単年度計</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値						単年度計			実績値						達成度							
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
目標値							単年度計																									
実績値																																
達成度																																
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															

令和6年度	評価（C）	【6年度評価】 担当課評価 <b>C</b> 令和6年度の不登校児童生徒の内、学校内外で相談・指導等を受けていない児童・生徒の割合は36.3%。昨年度よりも増加しており、目標値に達していないが、R5年度の全国の割合は38.9%となっており、本市の状況が全国よりも低い値となっている。また、R4年度と比べて約10%減少している。本事業の取り組みの成果と考えている。
	改善（A）	【7年度における取り組みなど】 増員したスクールカウンセラー、そしてスクールソーシャルワーカーを効果的に活用し、個別のケースの対応だけでなく、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期解決に向けた体制の強化を図っていくとともに、現在、不登校状態の児童・生徒やその家庭についても個別に支援していく。また、増員した家庭の教育機能総合支援員の家庭訪問等の個別の関わりや、子ども家庭アドバイザーによる学校教育課主催の講演や個別相談会、学校からの依頼を受けた講演や個別相談会など、アウトリーチ型の支援で、学校への登校や社会的自立に向けて支援する。また、各校の担当者に向けた連絡会や学習会を定期的実施していく。
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	生涯学習課
基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
基本的方向	生涯学習の推進	
具体的施策	②児童・生徒の学力・体力の向上・キャリア教育の推進	
事業名	地域の情報拠点としての図書館機能の充実	
事業概要	【最終予算額：163,044,000円】 【決算額：162,931,060円】 様々なイベントを企画し魅力ある図書館運営に努めていくと同時に、図書館本来の目的として、地域住民に求められる資料の充実と資料を必要とする人に的確に提供できるように努めていきます。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 図書館蔵書冊数																																			
		KPI： 5年後に500,000冊																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>473,000冊</td> <td>482,000冊</td> <td>486,500冊</td> <td>491,000冊</td> <td>495,500冊</td> <td>500,000冊</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>472,219冊</td> <td>479,148冊</td> <td>488,345冊</td> <td>497,264冊</td> <td>505,160冊</td> <td></td> <td rowspan="2">↑</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>99.8%</td> <td>99.4%</td> <td>100.4%</td> <td>101.3%</td> <td>101.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	473,000冊	482,000冊	486,500冊	491,000冊	495,500冊	500,000冊			実績値	472,219冊	479,148冊	488,345冊	497,264冊	505,160冊		↑		達成度	99.8%	99.4%	100.4%	101.3%	101.9%		
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																								
		目標値	473,000冊	482,000冊	486,500冊	491,000冊	495,500冊		500,000冊																												
		実績値	472,219冊	479,148冊	488,345冊	497,264冊	505,160冊		↑																												
		達成度	99.8%	99.4%	100.4%	101.3%	101.9%																														
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																		
		この数値の把握により、地域の情報拠点として、図書館が提供可能で、かつ、市民が求める資料・情報の収集が進んでいるか、図書館機能の充実に努めているかの指標となります。	令和元年度の実績値から起算した毎年4,500冊ずつ増加を目標として設定した結果の値																																		
		②目標事項： 年間個人貸出点数																																			
KPI： 5年後に353,300点																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>347,000点</td> <td>326,400点</td> <td>333,000点</td> <td>339,600点</td> <td>346,400点</td> <td>353,300点</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>346,061点</td> <td>323,930点</td> <td>375,251点</td> <td>384,704点</td> <td>388,787点</td> <td></td> <td rowspan="2">↑</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>99.7%</td> <td>99.2%</td> <td>112.7%</td> <td>113.3%</td> <td>112.2%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	347,000点	326,400点	333,000点	339,600点	346,400点	353,300点			実績値	346,061点	323,930点	375,251点	384,704点	388,787点		↑		達成度	99.7%	99.2%	112.7%	113.3%	112.2%				
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																										
目標値	347,000点	326,400点	333,000点	339,600点	346,400点		353,300点																														
実績値	346,061点	323,930点	375,251点	384,704点	388,787点		↑																														
達成度	99.7%	99.2%	112.7%	113.3%	112.2%																																
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																				
この数値の把握により、地域の情報拠点として、市民への資料・情報の提供が進んでいるか、市民が読書などで知的欲求を満たしているかの指標となります。	現在のコロナ禍での図書館利用の減少を考慮し、令和元年度の実績値より低い目標値から、毎年2%前後の増加を目標として設定した結果の値																																				
③目標事項：																																					
KPI：																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度									
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																										
目標値																																					
実績値																																					
達成度																																					
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																				

令和6年度	評価(C)	【6年度評価】	
		<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>泉佐野市「図書館を使った調べる学習コンクール」や「読書通帳」事業などで、小中学校で児童生徒の読書活動の推進に努めた。前年度と同様に市内ショッピングセンターでの「いずみさの図書館フェスタ」や「電子図書館体験会」などで身近に図書に触れ合える機会を設け、普段図書館に足を運ばない市民にも図書館のサービスを周知し、利用につながるよう努めた。その他、「予約資料受取ロッカー」を新たに「JR日根野駅」に開設し、新たな利用者の獲得に努めた他、毎年11月を「読書活動推進月間」に定め多くのイベントを実施した。中でも同月に「泉佐野市読書活動推進月間 特別企画」としてジャーナリストの池上彰を講師に市民講演会を開催したが、多くの市民に参加いただいた。</td> </tr> </table>	担当課
	担当課	泉佐野市「図書館を使った調べる学習コンクール」や「読書通帳」事業などで、小中学校で児童生徒の読書活動の推進に努めた。前年度と同様に市内ショッピングセンターでの「いずみさの図書館フェスタ」や「電子図書館体験会」などで身近に図書に触れ合える機会を設け、普段図書館に足を運ばない市民にも図書館のサービスを周知し、利用につながるよう努めた。その他、「予約資料受取ロッカー」を新たに「JR日根野駅」に開設し、新たな利用者の獲得に努めた他、毎年11月を「読書活動推進月間」に定め多くのイベントを実施した。中でも同月に「泉佐野市読書活動推進月間 特別企画」としてジャーナリストの池上彰を講師に市民講演会を開催したが、多くの市民に参加いただいた。	
改善(A)	【7年度における取り組みなど】 令和7年は電算システムの再構築を予定しており、利用者がより便利に利用しやすいように新しい機能を追加する計画で進めている。その他、「泉佐野市図書館を使った調べる学習コンクール」をさらに泉佐野市に根付かせるべく市内小・中学校と連携して出前講座を実施し、多くの応募作品が集まるよう努める。昨年度開催してきた各イベントも継続して開催し、市民に次回を楽しみにしてもらえるよう努める。昨年度から新たに開催した「泉佐野市読書活動推進月間 特別企画 市民講演会」を今年度も開催し、「泉佐野市民の心と知識を豊かにする読書活動推進条例」にかけられている市民に読書の楽しさや図書館の便利さを伝えるべく努めていく。		
委員会意見	【評価等に対する意見】		

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	政策推進課
----------	-----	-------

基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実
具体的施策	⑤出会い・結婚の支援
事業名	泉佐野市結婚新生活支援事業
事業概要	【最終予算額：18,000,000円】 【決算額：18,000,000円】 結婚の希望を叶えるために、新婚世代の住居費及び引越し費用を支援することにより、結婚に伴う経済的不安を軽減する。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 結婚新生活支援事業補助金交付件数										
		KPI： 5年間で30件										
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値	12件	26件	27件	28件	29件	30件	単年度計	↑		
		実績値	12件	33件	43件	66件	45件					
		達成度	100%	127%	159%	236%	155%					
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
		事業の目的である新婚世帯への経済的不安の軽減の達成度について、補助金の交付件数により測る。					政府の動向や実績値から令和3年度の予算要求時の件数を基にし、毎年1件ずつの増加とする。					
		②目標事項：										
		KPI：										
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
		目標値										
		実績値										
		達成度										
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠					
③目標事項：												
KPI：												
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考				
目標値												
実績値												
達成度												
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠							

令和6年度	評価(C)	【6年度評価】 担当課評価 <b>A</b>	制度の周知が図られてきたことにより、令和5年度の補助金支給件数は目標値28件に対し、実績値が66件で上回ったが、令和6年度より、窓口受付からWeb申請に変更した結果、件数がやや減少した。令和7年度も引き続き、積極的な広報に努めていく。
	改善(A)	【7年度における取り組みなど】 制度の周知はできており、一定の申請数が見込めている。今後も、公式ホームページやLINEでの広報、婚姻届提出時にチラシの配布を実施することで周知の徹底を図る。	
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	政策推進課
----------	-----	-------

基本目標	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
基本的方向	結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実
具体的施策	⑤出会い・結婚の支援
事業名	婚活イベント等の共催・後援など（出会いの機会創出事業）
事業概要	【最終予算額：4,965,000円】 【決算額：4,942,300円】 結婚を希望する若い世代を対象とした婚活等のイベント開催、または関係団体等が開催するイベントとの共催や後援を行い、出会いの場を提供する。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 婚活等イベント参加者の満足度																																			
		KPI： 5年後に80%																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>75%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>75%</td> <td>77%</td> <td>82%</td> <td>86%</td> <td>86%</td> <td></td> <td rowspan="2">↗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>96.3%</td> <td>102.5%</td> <td>107.5%</td> <td>107.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	75%	80%	80%	80%	80%	80%			実績値	75%	77%	82%	86%	86%		↗		達成度	100%	96.3%	102.5%	107.5%	107.5%		
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																								
		目標値	75%	80%	80%	80%	80%		80%																												
		実績値	75%	77%	82%	86%	86%		↗																												
		達成度	100%	96.3%	102.5%	107.5%	107.5%																														
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																		
		趣旨に沿った開催内容であったかを、参加者の満足度によって測る。	参加者のアンケートの満足度の平均値																																		
		②目標事項： マッチングアプリのお見合い件数																																			
KPI： 年間24件																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>24件</td> <td>24件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>40件</td> <td></td> <td rowspan="2">→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>166.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	-	-	-	-	24件	24件			実績値	-	-	-	-	40件		→		達成度	-	-	-	-	166.7%				
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																										
目標値	-	-	-	-	24件		24件																														
実績値	-	-	-	-	40件		→																														
達成度	-	-	-	-	166.7%																																
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																				
マッチング数により、アプリの活用状況や登録者の満足度が把握できる。	年間のお見合い件数（1か月2件として計算）																																				
③目標事項：																																					
KPI：																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度									
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																										
目標値																																					
実績値																																					
達成度																																					
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																				
令和6年度	評価（C）	【6年度評価】																																			
		担当課評価 <b>A</b> 令和5年度は、マッチングアプリを活用した婚活支援に発展させるため、市独自の婚活ポータルサイトを構築し、従来のイベント実施や結婚新生活支援事業を一体的・効果的に推進した。令和6年度は、マッチングアプリに関しては、登録者数が100人を超え、さらなる登録者の確保に向けて、積極的な広報をしていく。婚活イベントは集客もあり、満足度も高いので、引き続き実施していく。																																			
	改善（A）	【7年度における取り組みなど】 婚活ポータルサイトを活用し、登録者に対して通年で結婚情報や婚活イベント情報、地域の魅力等を発信する。また、婚活ポータルサイトにおいては、登録者数の増加を目指し、幅広く周知していく。																																			
		【評価等に対する意見】																																			
委員会意見	委員会評価																																				

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	道路公園課
----------	-----	-------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	①交通ネットワークの整備
事業名	コミュニティバス無料化事業
事業概要	【最終予算額：60,464,000円】 【決算額：60,464,000円】 地域の生活拠点を運行するコミュニティバスの無料化を継続することで、地域の公共交通網による移動手段の維持・確保を図り、交通弱者が容易に移動でき、社会参加等を促進するとともに、通勤・通学等の経費減による転入促進を図ります。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： コミュニティバスの年間利用者数（人）									
		KPI： 5年後に205,000人									
		現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	180,147人	183,000人	188,000人	200,000人	202,000人	205,000人			
		実績値	180,147人	150,281人	168,762人	176,469人	181,455人		単年度計	↗	
		達成度	100%	82.1%	89.8%	88.2%	89.8%				
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		運賃無料のコミュニティバスの利用向上は、高齢者や子育て世代の安全な移動支援や、通勤・通学・通院経費の軽減による住みやすさの向上、定住・転入促進につながると考え設定の根拠とした。					高齢化の進捗を背景に、運賃無料の経済的な移動手段として、子育て世代等からの需要増も含む、毎年平均3%の増加を積算根拠とした。				
		②目標事項： 観光周遊バスの年間利用者数（人）									
		KPI： 5年後に10,000人									
現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	7,627人	8,000人	8,500人	9,000人	9,500人	10,000人					
実績値	7,627人	5,447人	6,579人	7,427人	7,506人		単年度計	↗			
達成度	100%	68.1%	77.4%	82.5%	79.0%						
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
運賃無料の観光周遊バスの利用向上は、国内外からの観光客の周遊性を高めることで、地域経済の拡大に連動すると考え設定の根拠とした。					日祝のみの運行であるも、運賃無料の継続化とともに、利便性・周遊性を高めるなどの利用促進を図り、毎年平均5%の利用増加を積算根拠とした。						
③目標事項：											
KPI：											
現状値（R元年度）		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値							単年度計				
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和6年度	評価(C)	【6年度評価】 担当課評価 <b>C</b> コミュニティバスは、令和3年以降実績値が目標値を下回っているものの、令和5年度より4,986人増で、令和6年度は令和元年度の現状値を上回り、年々利用者は回復してきている。観光周遊バスについては、令和5年度からの利用者の増加は鈍化しているものの回復傾向にはあります。また、新型コロナウイルスの影響により令和3年度に大幅に利用者が減少した時から各年度の利用者の増加は目標値を上回っているが、目標値を達成することはできていない。									
		【7年度における取り組みなど】 引き続き感染症等の予防を行うとともに、運行会社である南海ウイングバスと連携し、安全で安心して乗車していただけるよう運行に努めていきます。また、7年度より新型車両を導入することにより利用者の増加が見込めます。									
	改善(A)										
		【評価等に対する意見】									
委員会意見	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	危機管理課
----------	-----	-------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	②市民が地域防災の担い手となる環境の確保
事業名	泉佐野市大防災訓練
事業概要	【最終予算額：1,684,000円】 【決算額：1,539,950円】
	11月第一日曜日の「市民防災の日」に市域全体で地域の自主防災組織を主体とした大防災訓練を実施する。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 防災訓練参加人数																																		
		KPI： 5年後に5,000人(700人の増加)																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>4,300人</td> <td>4,500人</td> <td>4,600人</td> <td>4,700人</td> <td>4,800人</td> <td>5,000人</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4,300人</td> <td>5,615人</td> <td>3,446人</td> <td>3,734人</td> <td>3,640人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>125%</td> <td>75%</td> <td>79%</td> <td>76%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	4,300人	4,500人	4,600人	4,700人	4,800人	5,000人	累計	なし	実績値	4,300人	5,615人	3,446人	3,734人	3,640人		達成度	100%	125%	75%	79%	76%			
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	4,300人	4,500人	4,600人	4,700人	4,800人		5,000人	累計	なし																									
		実績値	4,300人	5,615人	3,446人	3,734人	3,640人																													
		達成度	100%	125%	75%	79%	76%																													
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
		防災訓練参加人数の増加から、地域を主体とした訓練の進展度を測ることができるため。※R3年度の実績数値は、コロナ禍を踏まえた訓練の実施が重要であったことから、参加型の防災訓練の参加人数ではなく、安否確認タオルの掲出数を実績値として計上。	例年の増加割合を踏まえて合理的な目標値を算出したもの。																																	
		②目標事項：																																		
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			

令和6年度	評価(C)	<p>【6年度評価】</p> <p>担当課評価</p> <p><b>C</b></p> <p>自主防災組織は情報収集や伝達、地域の避難誘導など種々活動を同時に行うことが必要であり、市域全体で実施する大防災訓練を毎年繰り返し行うことで、実践的な活動が見込めるように育成されている。また、地域住民は訓練参加により、防災について正しい知識を着実に習得されてきている。令和6年度末現在で、自主防災組織は83町会中78町会で結成。※R3年度の実績数値は、コロナ禍を踏まえた訓練の実施が重要であったことから、参加型の防災訓練の参加人数ではなく、安否確認タオルの掲出数を実績値として計上。</p>
	改善(A)	<p>【7年度における取り組みなど】</p> <p>市民防災の日に大防災訓練を実施し防災意識の高揚を促す。また、大防災訓練に参加した自主防災組織への補助金を増額し防災訓練の機運を高め、活動の促進を図る。</p>
	委員会意見	<p>【評価等に対する意見】</p> <p>委員会評価</p>

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分		担当課	危機管理課								
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する										
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり										
具体的施策	②市民が地域防災の担い手となる環境の確保										
事業名	地域防災の担い手の確保										
事業概要	【最終予算額：3,321,000円】			【決算額：3,008,238円】							
	災害等に関する正確な知識を取得し、地域における防災・減災リーダーの育成を図るため、防災士資格取得研修を実施する。										
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 防災士の資格取得人数（累計）									
		KPI： 5年後に486人									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	366人	406人	426人	446人	466人	486人	累計	↑	なし
		実績値	353人	484人	570人	644人	724人				
		達成度	96%	119%	134%	144%	155%				
		KPI設定の根拠 防災士資格取得者数を、地域防災の担い手の育成状況を測る指標とする。				KPI目標数値の積算根拠 受講者が例年水準にて推移していることから、毎年度20人増加する目標値を設定。					
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠					
		③目標事項：									
KPI：											
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠							
令和6年度	評価（C）	【6年度評価】									
		担当課評価	本市の防災と危機管理に寄与することを目的とした、日本防災士機構が認証する防災士資格取得者を増やすことができた。市内在住の防災士を増やすことで、地域防災力の向上を期待することができる。・各年度未資格取得者数の推移は、R1：353人、R2：417人、R3：484人、R4：570人、R5：644人、R6：724人								
		A									
改善（A）	委員会意見	【7年度における取り組みなど】									
		引き続き、防災力を高める活動が期待される防災士の資格取得を積極的に促進する。また、市内在住の防災士育成のため、知識と技能習得のためのフォローアップ研修を実施する。									
令和6年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	地域共生推進課・危機管理課
----------	-----	---------------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり
具体的施策	②市民が地域防災の担い手となる環境の確保
事業名	地域の絆づくり登録制度
事業概要	<p>【最終予算額：13,155,000円】 【決算額：12,526,002円】</p> <p>災害時の避難に不安がある方（避難行動要支援者）に、あらかじめ市に登録していただき、地域の支援団体（自主防災組織）や関係機関（警察・消防・社会福祉協議会〈左記3機関とは協定締結済〉）とその情報を共有し、平時時の見守りや災害が発生したときの避難支援活動、安否確認に役立てる。</p> <p>対象者の抽出、登録届出書兼同意書の送付及び同意者の登録を地域共生推進課にて行い、登録情報の提供に関わる協定の締結と各機関への避難行動要支援者名簿の提供事務を危機管理課が行う。また、発災時には迅速かつ適切な避難支援活動を実施する必要があることから、個別計画の作成を支援団体は名簿をもとに社会福祉協議会と連携して作成する。</p>

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 避難行動要支援対象者の同意・不同意確認者数割合																																		
		KPI： 5年後に72.0%																																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>67.7%</td> <td>68.0%</td> <td>69.0%</td> <td>70.0%</td> <td>71.0%</td> <td>72.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>67.7%</td> <td>75.3%</td> <td>75.8%</td> <td>79.6%</td> <td>78.7%</td> <td></td> <td rowspan="2">累計</td> <td rowspan="2">→</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td>110.7%</td> <td>109.9%</td> <td>113.7%</td> <td>110.8%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	67.7%	68.0%	69.0%	70.0%	71.0%	72.0%			実績値	67.7%	75.3%	75.8%	79.6%	78.7%		累計	→	達成度	100.0%	110.7%	109.9%	113.7%	110.8%	
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
		目標値	67.7%	68.0%	69.0%	70.0%	71.0%		72.0%																											
		実績値	67.7%	75.3%	75.8%	79.6%	78.7%		累計	→																										
		達成度	100.0%	110.7%	109.9%	113.7%	110.8%																													
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
		市・社協及び自主防災組織が連携し、当事業の更なる周知を図り、入れ替わりの激しい避難行動要支援者となり得る者の意思確認をいかに進めていけるかの指標となる。	過去の増加率が横ばいのため、合理的に算出した結果																																	
		②目標事項： 自主防災組織との協定締結率																																		
KPI： 5年後に100%																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>54.5%</td> <td>70.1%</td> <td>77.9%</td> <td>85.7%</td> <td>93.5%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>54.5%</td> <td>62.3%</td> <td>68.8%</td> <td>67.9%</td> <td>69.2%</td> <td></td> <td rowspan="2">累計</td> <td rowspan="2">↗</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td>88.9%</td> <td>88.3%</td> <td>79.2%</td> <td>74.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	54.5%	70.1%	77.9%	85.7%	93.5%	100%			実績値	54.5%	62.3%	68.8%	67.9%	69.2%		累計	↗	達成度	100.0%	88.9%	88.3%	79.2%	74.0%			
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値	54.5%	70.1%	77.9%	85.7%	93.5%		100%																													
実績値	54.5%	62.3%	68.8%	67.9%	69.2%		累計	↗																												
達成度	100.0%	88.9%	88.3%	79.2%	74.0%																															
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
地域における災害時の避難支援活動、安否確認に役立てる名簿の提供状況を把握することにより取り組みの進捗を確認する。	令和3年度から令和7年度までの5カ年で市内自主防災組織との協定締結を完了することを目標として設定した値																																			
③目標事項：																																				
KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度								
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
目標値																																				
実績値																																				
達成度																																				
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
令和6年度	評価（C）	【6年度評価】																																		
		担当課評価	C																																	
		要支援者名簿を作成し、地域の支援団体78組織中、54組織と協定を締結し名簿の提供を行った。 ・各年度契約締結数は、H27：16団体、H28：9団体、H29：9団体、H30：2団体、H31：6団体、R2：0団体、R3：6団体、R4：5団体、R5：0団体、R6：1団体 ・各年度末同意登録者数の推移は、H28：2347人、H29：2464人、H30：2762人、H31：2697人、R2：2989人、R3：3124人、R4：3115人、R5：3308人、R6：3147人																																		
改善（A）	【7年度における取り組みなど】	あらゆる機会を活用して制度説明を行うなど広く理解を求め、登録者数及び地域の支援団体の増加を図る。																																		
	委員会意見	【評価等に対する意見】																																		
	委員会評価																																			

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	健康推進課
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり	
具体的施策	④高齢者の健康づくり	
事業名	健康マイレージ事業	
事業概要	【最終予算額：29,460,000円】 【決算額：18,521,150円】 健康教室への参加や特定健診・がん検診等の受診など、健康づくりへの取り組みに対し、「さの健康ポイント」の付与を行い、健康づくりへの積極的な参加促進を図ることを目標にしている。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 健康マイレージの参加者数									
		KPI： 年5%の参加者の増加を目標とする									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	208人	294人	309人	324人	340人	357人	単年度計	↑	
		実績値	352人	429人	597人	2,885人	6,661人				
		達成度	169.2%	145.9%	193.2%	890.4%	1959.1%				
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		健康マイレージの交換者数により、健康教室への参加や特定健診・がん検診等の受診率の向上など、健康づくりへの関心度がわかる。					R元年度に総合計画の目標を達成したため、改めて目標値を見直し、R2年度に下がった見込数値(280人)から年間5%(H26~R元年度の対前年比平均)の参加者数の増を目標とした。				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和6年度	評価(C)	【6年度評価】									
		担当課	令和6年1月より健康マイレージ事業がデジタル化し「さのほっ歩」を開始した。令和6年度3月末時点で紙のマイレージ事業でさのほに交換した人は514人、「さのほっ歩」の登録者数は、6,147人と大幅に増加した。デジタルの登録者の年齢別では20歳代が6%、30歳代が10%、40歳代が17%、50歳代が21%、60歳以上が47%と60歳以上が約半数であった。「さのほっ歩」の登録が増加した要因は、アプリ内で貯めた「さの健康ポイント」を地域通貨のさのほに交換できることやアプリの設定方法がわからない人を対象に、説明会や個別サポート会を全8回実施したり、市役所窓口でも職員がサポートしたりとアプリに不慣れな層にも対応することで幅広い層にも普及していった。令和6年4月からは、健康診断やがん検診を市内の医療機関で受けると「さの健康ポイント」が500ポイント溜まるだけでなく、会社の健康診断や人間ドックなどの市外の医療機関で受けた健(検)診結果も画像を送付することでポイントが溜まるシステムも追加し、市民が手軽に健康づくり行動に取組めるようになった。								
		評価	A								
		改善(A)	【7年度における取り組みなど】 健康マイレージ事業の登録者は60歳以上が半数近くを占めていることから、30歳代~50歳代の層への働きかけが必要である。早期から健康づくりを意識してもらうとともに健(検)診の受診率アップを図るために、成人式の参加者や乳幼児健診・こども園・学校の保護者向け健康マイレージ事業の周知チラシと健診受診の呼びかけを行うこととした。また今年度もアプリの新規登録者に対してサポート会を実施するとともに6月に歩数連携のアプリがバージョンアップすることからすでに登録されている人へのサポート会も行うなど継続して健康づくりに取組めるように支援を行う。								
令和6年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分		担当課	自治振興課								
基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する										
基本的方向	健康で安心して暮らせるまちづくり										
具体的施策	⑤地域づくり										
事業名	町会連合会の加入促進事業への補助金										
事業概要	【最終予算額： 21,726,000円】 【決算額： 21,439,000円】										
	町会連合会が主体的に実施する加入促進事業のうち、町会連合会を構成する町会等が、その加入世帯に配布する町会活動促進袋（市認定家庭系可燃ごみ袋）を調達（製作・保管・配送）する事業に対し補助金を交付することにより、加入率向上に寄与することを目的とする事業。										
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 町会加入率									
		KPI： 5年後に67%									
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	61%	63%	64%	65%	66%	67%	累計	↑	
		実績値	58.7%	57.6%	56.3%	54.9%	52.9%				
		達成度	96.23%	91.43%	87.97%	84.46%	80.15%				
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠					
		町会連合会による加入促進事業の成果を測る指標である。				近年、単身世帯の増加等を要因として、町会加入率は下落傾向にあるが、補助金の交付その他の支援を継続することにより、毎年1%程度の向上を期待するもの。					
		②目標事項：									
		KPI：									
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値									
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠							
③目標事項：											
KPI：											
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠							
令和6年度	評価（C）	【6年度評価】									
		担当課 評価	町会活動促進袋（市認定家庭系可燃ごみ袋）配布が加入率増加に即効性のある事業ではないが、町会・自治会会員のメリットになっている。 令和6年度事業実績 泉佐野市町会連合会加盟83町会中83町会で実施。（年間12回配布）								
	改善（A）	【7年度における取り組みなど】 本事業について、令和7年度も活動促進袋調達事業の実施主体である泉佐野市町会連合会が、泉佐野市町会連合会事業費補助金により事業を継続する。その他の加入勧奨活動としては、新規加入世帯に対する「さのほ」ポイント付与事業を継続、市職員が町会・自治会役員に同行して行う未加入世帯への加入勧奨活動及び町会・自治会へのインセンティブとして、新規加入世帯1世帯あたり5,000円の報奨金（新規加入割）を交付する制度を継続し、引き続き加入勧奨を進める。									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会 評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	農林水産課
----------	-----	-------

基本目標	① 安定した雇用を創出する
基本的方向	農業等の振興
具体的施策	①地域資源を活かした産業振興と創業支援
事業名	泉佐野産（もん）普及促進事業
事業概要	【最終予算額： 30,093,000円】 【決算額： 28,151,637円】 泉佐野で収穫された地場野菜や魚介類を活用したオリジナルレシピを基に、6次産業化に資するレシピを商品化し、地場野菜のブランド化と6次産業化の促進を行う。

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 農商工連携または6次産業化に取り組む企業・団体・農業者数																																				
		KPI： 5年間で9者へ増加																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>7者</td> <td>7者</td> <td>7者</td> <td>8者</td> <td>8者</td> <td>9者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>7者</td> <td>7者</td> <td>7者</td> <td>8者</td> <td>9者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100.0%</td> <td>112.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	7者	7者	7者	8者	8者	9者			実績値	7者	7者	7者	8者	9者				達成度	100%	100%	100%	100.0%	112.5%			
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																									
		目標値	7者	7者	7者	8者	8者		9者																													
		実績値	7者	7者	7者	8者	9者																															
		達成度	100%	100%	100%	100.0%	112.5%																															
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																			
		この数値の把握により、市域で生産された農林水産物の販売ルートや販売量の拡大につながる動きが進展し、地産地消の関心の高まりを示す指標となると考えられるため																																				
		事業で当市産を使ったメニューを開発し、公表することで市内外の飲食店での活用を促し、さらなる農商工連携を図る。連携はこの5年間で2者の増加を把握しているため目標とした。																																				
		②目標事項：																																				
		KPI：																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度										
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																											
目標値																																						
実績値																																						
達成度																																						
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																					
③目標事項：																																						
KPI：																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値									達成度										
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																											
目標値																																						
実績値																																						
達成度																																						
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																					

令和6年度	評価（C）	<p>【6年度評価】</p> <p>担当課評価</p> <p><b>B</b></p> <p>令和6年度は、6人のシェフに市内の特産品である水なす、松波キャベツを使ったオリジナルレシピを考案して頂いた。ホテル日航関西空港のシェフは、そのレシピの料理を提供したり、他のシェフも自身の店でレシピの料理を提供した。この取り組みをラジオや雑誌等のメディアで取り上げてもらったことや、ミツカンボン酢の小冊子の一部に泉佐野産の水なすの良さを記載してもらい、飲食店や食品スーパーで配布されたことにより、泉佐野産野菜の価値向上につながった。また、令和4年度より企業版ふるさと納税による寄付金を活用し、泉佐野市の食材を全国の子ども食堂に届ける取り組みを行った。子どもたちが成長できる環境づくりに貢献できるとともに、泉佐野市の食材を購入することを通じて、市内の生産者支援にもつながった。</p>
	改善（A）	<p>【7年度における取り組みなど】</p> <p>令和7年度は引き続き、市内のホテルの協力を得たうえで、泉佐野産食材を使ったメニューの提供をしていくことで、泉佐野産食材の更なるブランド化を図り、6次産業化を目指す。また、企業版ふるさと納税による寄付金を活用し、子どもたちが成長できる環境づくり及び市内の生産者の活用を図る。</p>
	委員会意見	<p>【評価等に対する意見】</p> <p>委員会評価</p>

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	観光による交流人口拡充
具体的施策	②観光による交流人口の拡充
事業名	観光振興事業
事業概要	【最終予算額：196,796,000円】 【決算額：160,039,904円】 訪日外国人旅行者に対する受入環境整備や地域の伝統文化の継承、市民団体等の主催イベントへの支援、公式キャラクターによるシティプロモーション、広域連携による誘客促進など、関空の対岸という地理的優位性と交通便利性の強みを活かしたエリアの魅力創出あるいは周辺地域への出発地あるいは中継地としての機能強化を図ることで、国内外からのさらなる誘客を促進し、観光関連産業の活性化に取り組む。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 市内の年間延べ宿泊者数																																
		KPI： 5年後に212万人/年																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年)</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> <th>R5年</th> <th>R6年</th> <th>R7年</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>189万人</td> <td>106万人</td> <td>161万人</td> <td>200万人</td> <td>206万人</td> <td>212万人</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3">他の統計調査に合わせて暦年値にしている</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>189万人</td> <td>51万人</td> <td>93万人</td> <td>189万人</td> <td>174万人</td> <td>単年度計</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> <td>48.1%</td> <td>57.8%</td> <td>94.5%</td> <td>84.5%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年)	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	189万人	106万人	161万人	200万人	206万人	212万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている	実績値	189万人	51万人	93万人	189万人	174万人	単年度計	達成度	100.0%	48.1%	57.8%	94.5%	84.5%	
		現状値 (R元年)	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	189万人	106万人	161万人	200万人	206万人		212万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている																							
		実績値	189万人	51万人	93万人	189万人	174万人	単年度計																										
		達成度	100.0%	48.1%	57.8%	94.5%	84.5%																											
		KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																															
		誘客促進施策の結果として、市内の宿泊者数の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、観光関連産業の活性化を示す指標になると考えるため	観光庁の宿泊旅行統計調査データ等により推計値を算出																															
		②目標事項： 市内の年間外国人延べ宿泊者数																																
KPI： 5年後に152万人/年																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年)</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> <th>R5年</th> <th>R6年</th> <th>R7年</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>80万人</td> <td>64万人</td> <td>107万人</td> <td>140万人</td> <td>146万人</td> <td>152万人</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3">他の統計調査に合わせて暦年値にしている</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>124万人</td> <td>6万人</td> <td>16万人</td> <td>72万人</td> <td>99万人</td> <td>単年度計</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>155.0%</td> <td>9.4%</td> <td>15.0%</td> <td>51.4%</td> <td>67.8%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年)	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	80万人	64万人	107万人	140万人	146万人	152万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている	実績値	124万人	6万人	16万人	72万人	99万人	単年度計	達成度	155.0%	9.4%	15.0%	51.4%	67.8%			
現状値 (R元年)	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値	80万人	64万人	107万人	140万人	146万人		152万人	↑	他の統計調査に合わせて暦年値にしている																									
実績値	124万人	6万人	16万人	72万人	99万人	単年度計																												
達成度	155.0%	9.4%	15.0%	51.4%	67.8%																													
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
訪日外国人旅行者に対する受入環境整備等の施策の効果として、外国人宿泊者数の増加が、観光消費による経済波及効果に直結し、観光関連産業の活性化を示す指標になると考えるため	観光庁の宿泊旅行統計調査データ等により推計値を算出																																	
③目標事項： 市内観光施設の利用者数																																		
KPI： 5年後に19.3万人/年																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>20.0万人</td> <td>10.6万人</td> <td>10.8万人</td> <td>11.1万人</td> <td>11.4万人</td> <td>11.6万人</td> <td rowspan="3">↑</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>18.7万人</td> <td>2.7万人</td> <td>7.7万人</td> <td>13.2万人</td> <td>15.4万人</td> <td>単年度計</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>93.5%</td> <td>25.5%</td> <td>71.3%</td> <td>118.9%</td> <td>135.1%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	20.0万人	10.6万人	10.8万人	11.1万人	11.4万人	11.6万人	↑		実績値	18.7万人	2.7万人	7.7万人	13.2万人	15.4万人	単年度計	達成度	93.5%	25.5%	71.3%	118.9%	135.1%			
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値	20.0万人	10.6万人	10.8万人	11.1万人	11.4万人		11.6万人	↑																										
実績値	18.7万人	2.7万人	7.7万人	13.2万人	15.4万人	単年度計																												
達成度	93.5%	25.5%	71.3%	118.9%	135.1%																													
KPI設定の根拠	KPI目標数値の積算根拠																																	
観光案内施設の利用者数の増加が、地域の観光に対する関心の高さやその活性化を示す指標になると考えるため	りんくうまち処・泉佐野まち処・泉佐野観光情報センターの利用者数の合計値 ※令和元年度実績値と令和3～7年度目標値が乖離している理由…令和2年度(令和3年3月末)で関空まち処を閉鎖したため																																	

令和6年度	評価(C)	<p>【6年度評価】</p> <p>担当課評価</p> <p><b>B</b></p> <p>アフターコロナ、円安の影響により、訪日外国人数は順調に増加している。年間延べ宿泊者数は昨年比減少したものの外国人宿泊者数は増加傾向でありコロナ禍前の賑わいを取り戻しつつある。令和6年度は市内に滞在していただくためのコンテンツ造成事業として映画祭を実施するなど、新たな取り組みを実施できた。また、レンタサイクルを活用したツアー造成など、新たな観光施策を導入し、持続可能な誘客促進に注力するなど、市内で一定に集客、効果を生み出すことができた。</p>
	改善(A)	<p>【7年度における取り組みなど】</p> <p>関空の訪日外国人旅行者数によると、訪日外国人旅行者数はすでにコロナ禍前の数値を上回り、過去最多を更新している。円安の影響もあり、今後も訪日外国人は増加が見込まれる。本市のKPIにおいてもコロナ禍前を上回る数値結果を出せるように、関空の対岸という地理的優位性と交通便利性の強みを活かし、受入環境の整備と観光資源の磨き上げを図りながら、国内外からのさらなる誘客を目指す取り組みをしていく。また大阪・関西万博と連携した市内独自の事業展開により、更なる観光客誘致に努める。</p>
	委員会意見	<p>【評価等に対する意見】</p> <p>委員会評価</p>

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	まちの活性課
基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる	
基本的方向	観光による交流人口拡充	
具体的施策	②観光による交流人口の拡充	
事業名	観光アプリ等を活用した着地型商品普及のための地域活性化計画事業	
事業概要	【最終予算額：40,589,000円】 【決算額：40,588,995円】 観光アプリでの情報発信や観光情報サイトの作成及び運営や、市内を巡る観光商品の作成・販売により、国内外からの誘客を図る。	

計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 地域における観光消費額									
		KPI： 1年毎に13.8億円の増加									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	—	—	—	—	448.3億円	462.1億円	単年度計	↑	交付金申請時の現状値＝R5年度434.5億円。コロナ後のGoToキャンペーンによりR5宿泊者数は大幅に増加。
		実績値	—	—	—	—	399.5億円				
		達成度	—	—	—	—	89.1%				
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		観光アプリでの情報発信や市内を巡る観光商品の作成・販売により、観光消費額が増加すると考えられるため。					観光庁の統計調査によると、宿泊者一人当たりの平均観光消費額は23千円。泉佐野市総合計画では、毎年宿泊者数が6万人増加を見込んでおり、これをKPIとして設定する。（23千円×6万人＝13.8億円）				
		②目標事項： 泉佐野市内の観光来訪者数									
		KPI： 1年毎に2%程度(約22,400人ほど)の増加									
			現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	—	—	—	—	1,142,857人	1,165,257人	単年度計	↑	※観光来訪者数は外国人は含まない。交付金申請時の現状値＝R5年度1,120,457人。
		実績値	—	—	—	—	1,160,366人				
		達成度	—	—	—	—	101.5%				
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		観光アプリでの情報発信や市内を巡る観光商品の作成・販売により、観光来訪者数が増加すると考えられるため。					地方版総合戦略に基づき算出しているもので、2025年大阪関西万博等を考慮し、毎年2%程度の増加を見込む。				
③目標事項： アプリ上での商品の販売売上額											
KPI： 1年毎に対前年度比125%の増加											
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	—	—	—	—	90,000円	112,500円	単年度計	↑			
実績値	—	—	—	—	99,000円						
達成度	—	—	—	—	110.0%						
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
観光アプリでの情報発信や市内を巡る観光商品の作成・販売により、観光商品の販売売上額が増加することが見込まれるため。					観光アプリでの情報発信や市内を巡る観光商品の作成・販売により、商品の販売売上額が12.5%ずつ増加すると設定。						
④目標事項： レンタサイクルの利用実績額											
KPI： 1年毎に対前年度比110%の増加											
	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	—	—	—	—	274,010円	301,411円	単年度計	↑	交付金申請時の現状値＝R5年度249,100円。		
実績値	—	—	—	—	347,500円						
達成度	—	—	—	—	126.8%						
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
観光アプリでの情報発信や市内を巡る観光商品の作成・販売により、レンタサイクルの利用が増加することが見込まれるため。					観光アプリでの情報発信や市内を巡る観光商品の作成・販売により、利用者数が10%ずつ増加すると設定。						
令和6年度	評価（C）	【6年度評価】									
		担当課評価	日本政府観光局観光庁によると、2024年の訪日客数が3686万人と過去最多を更新したとのことだが、残念ながら市内宿泊者数は前年度を下回った。ただし、外国人宿泊者数は増加している。国内宿泊者数が減少した理由は、2023年はコロナ禍後のGoToキャンペーンがあったことから市内宿泊者数は大幅に増加していたが、2024年はキャンペーンが終了し、前年度より国内の宿泊者数が減少したものと考えられる。2025年4月より「大阪・関西万博」が開催されるため、国内外の観光来訪者の増加を期待したい。								
		B									
令和6年度	改善（A）	【7年度における取り組みなど】									
		2025年4月から、いよいよ「大阪・関西万博」が開幕。このビッグイベントの開催によって、本市への宿泊者数などが伸びることに期待するとともに、これらの来客者に少しでも市内を滞在していただけるよう、前年に引き続き観光商品を提供していきたいと考えている。									
令和6年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	ふるさと創生課								
基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる									
基本的方向	関係人口の創出・拡大									
具体的施策	④シティプロモーション活動の強化									
事業名	ふるさと応援寄附金事業									
事業概要	【最終予算額：9,350,443,000円】   【決算額：8,528,793,830円】									
	ふるさと納税制度の取り組みに基づき全国の寄附者と繋がりを図ることにより、地元特産品のPR、販売促進や観光誘致につなげることで、地元企業・地域の活性化をめざします。									
計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： ふるさと応援寄附金寄附件数								
		KPI： 年間240,000件								
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	—	240,000件	240,000件	240,000件	240,000件	240,000件	→	
		実績値	—	894,138件	923,583件	1,174,878件	1,130,779件	単年度計		
		達成度	—	372.6%	384.8%	489.5%	471.2%			
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		市外住民の寄附行為が対象であり、不安定な要素はあるが寄附件数の実績を根拠とする。				新制度のふるさと納税受入れ開始（令和2年7月）から令和2年12月末までの実績である120,000件の2倍を積算根拠とする。				
		②目標事項：								
		KPI：								
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値								
		実績値								
		達成度								
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：										
KPI：										
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値										
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
評価（C）	【6年度評価】									
	担当課評価	KPI目標として設定した寄附件数については、熟成肉・お米に対する総務省告示改正の影響を受けたものの、目標比471.2%の1,130,779件となり、KPI目標を大幅に上回ることが出来た。また、寄附者の満足度向上、品質管理・配送管理等のさらなる強化に取り組んできたことで、リピーターも増加しており、昨年度に引き続き寄附者との良好な接点強化も図ることができている。								
	A									
令和6年度改善（A）	【7年度における取り組みなど】									
	品質・配送管理等に関わる取り組みをさらに強化し、より一層寄附者の満足度を高め、全国の寄附者との良好な接点の強化ならびにファンの獲得に努めていきたい。また、Instagram、TikTokアカウントを新規で開設するなど、SNS等を活用したプロモーション施策を強化し、より効率的かつ効果的な運用を行うことで、本市ふるさと納税の認知度及びアクセス数のさらなる向上を図ってまいりたいと考えている。									
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	まちの活性課
----------	-----	--------

基本目標	④ 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
基本的方向	スマートシティの推進
具体的施策	⑥行政・地域のデジタル化
事業名	キャッシュレスや地域通貨の活用推進
事業概要	【最終予算額：44,850,000円】 【決算額：43,796,908円】 官民連携による地域ポイント「さのぼ」を通じて、地域外への経済流出を防ぐこと、及び新たな地域内経済への流入を増やすことで、地域内経済循環を高めることで、自立した地域経済の活性化を図るもの。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 地域内消費額									
		KPI： 5年後に30億円									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	10億円	20億円	22億円	25億円	27億円	30億円	累計	↑	
		実績値	13.3億円	28.6億円	49.4億円	76.8億円	108.4億円				
		達成度	133%	143.0%	224.5%	307.2%	401.5%				
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		地域内消費額が当該事業の評価に直結するものと考えため					過去の伸び率を参考に目標値を設定				
		②目標事項： カード会員数									
		KPI： 5年後に45,000人									
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	30,000人	35,000人	37,000人	40,000人	43,000人	45,000人	累計	↑			
実績値	25,799人	34,008人	85,824人	104,591人	112,019人						
達成度	86%	97.2%	232.0%	261.5%	260.5%						
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
利用者数が当該事業の効果性の評価に直結するものと考えているため					最終目標を人口の概ね50%と設定し、5年間で割り戻した数値を各年度で設定						
③目標事項：											
KPI：											
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和6年度	評価 (C)	【6年度評価】									
		担当課評価	他課イベントとの連携や「30%還元キャンペーン」へのポイント付与を行うことで、消費額・会員数ともに順調に伸びた。								
	改善 (A)	【7年度における取り組みなど】									
		R5年度より導入したさのぼアプリを活用し、利用者の利便性のみならず、加盟店舗側に対しても効率的に集客や販促ができるような取り組みを通して、取扱店舗の増加も目指していく。アプリを利用したスタンプラリーや、R4年度から行っている還元キャンペーン等でのポイント付与の目玉施策などにより会員増にに取り組む。									
委員会意見	【評価等に対する意見】										
	委員会評価										

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分		担当課	おもてなし課							
基本目標	① 安定した雇用を創出する									
基本的方向	しごとの創生									
具体的施策	②企業誘致									
事業名	企業誘致奨励金事業									
事業概要	【最終予算額： 417,528,000円】   【決算額： 381,994,220円】									
	市の発展と雇用の増大を図るなど、市民福祉の向上のため、市内に新たに事業所を建設・設置される方（企業）で、一定条件を満たす場合に奨励金を交付する。									
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 企業誘致奨励金交付企業数								
		KPI： 5年後に25社								
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	15社	17社	19社	21社	23社	25社	累計	↗
		実績値	15社	17社	17社	17社	18社			
		達成度	100%	100.0%	89.5%	81.0%	78.3%			
		KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠				
		交付企業数が増えることで、事業目的の達成につながるため。				過去5年で6社の増加（年1.2社）となっており、さらなる上昇値（年2社）を目標とする。				
		②目標事項： 上記企業の新規雇用者数								
		KPI： 5年後に739人								
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	614人	639人	664人	689人	714人	739人	累計	↗		
実績値	614人	1,142人	1,142人	1,150人	1,150人					
達成度	100%	178.7%	172.0%	166.9%	161.1%					
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
新規雇用者数が増えることで、事業目的の達成につながるため。				過去5年で101人の増加（年20.2人）となっており、さらなる上昇値（年25人）を目標とする。						
③目標事項：										
KPI：										
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値										
実績値										
達成度										
KPI設定の根拠				KPI目標数値の積算根拠						
令和6年度	評価（C）	【6年度評価】								
		担当課評価	KPIについて交付企業数は、これまで主にりんくうタウン域内の企業に対して交付しているが、域内の進出可能な地域が埋まってきたことから、令和6年度については目標に達しなかった。今後はりんくうタウン域内のテナント入れ替え時期や経済情勢などにより、交付企業数及び新規雇用者数は左右されると考えている。							
	改善（A）	【7年度における取り組みなど】								
		企業誘致については、経済情勢に大きく左右されるところであるが、R11(2029)年度に換地処分予定の泉佐野丘陵東地区などの本市の立地状況等を踏まえ、ビジネスチャンスとなるであろう企業に本市の魅力を的確に伝えるとともに、雇用面等本市にとって大きな効果の期待が出来る産業分野を中心に、企業の発掘・誘致を引き続き進めていく。								
委員会意見	【評価等に対する意見】									
	委員会評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	ふるさと創生課
----------	-----	---------

基本目標	① 安定した雇用を創出する
基本的方向	官民連携の推進
具体的施策	②企業誘致
事業名	地場産品創出支援事業
事業概要	【最終予算額：1,392,417,000円】 【決算額：1,392,417,000円】 企業と地方と寄附者をつなぐ「#ふるさと納税3.0」を利用して企業から新たな地場産品の提案を受けてクラウドファンディング（ふるさと納税）のプロジェクトを実施する。寄附目標額が達成した場合は正式に誘致し、寄附金を原資に生産拠点の整備費用となる補助金を交付する。そこで生産された地場産品をふるさと納税の返礼品として届けていくという企業誘致の新しいカタチである。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 補助金を交付し、企業誘致が達成した件数																																
		KPI： 年間9件																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>指標の単年・累計の別</td> <td rowspan="3">→</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>2件</td> <td>14件</td> <td>14件</td> <td>12件</td> <td></td> <td>単年度計</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>22%</td> <td>156%</td> <td>156%</td> <td>133%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	9件	9件	9件	9件	9件	指標の単年・累計の別	→		実績値	2件	14件	14件	12件		単年度計	達成度	22%	156%	156%	133%		
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																					
		目標値	9件	9件	9件	9件	9件		指標の単年・累計の別	→																								
		実績値	2件	14件	14件	12件		単年度計																										
		達成度	22%	156%	156%	133%																												
		KPI設定の根拠	民間企業の新たな投資が対象であり、不安定な要素はあるが令和2年度の実績を根拠とする。																															
		KPI目標数値の積算根拠	令和2年度に実施しているプロジェクトの中で補助金を交付し、ふるさと納税で返礼品を提供される実績を根拠とする。																															
		②目標事項： 新規提案を受付、CFを実施し、補助金を交付する予定事業の件数																																
		KPI： 年間9件																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>指標の単年・累計の別</td> <td rowspan="3">→</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>13件</td> <td>5件</td> <td>18件</td> <td>25件</td> <td></td> <td>単年度計</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>144%</td> <td>56%</td> <td>200%</td> <td>278%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	9件	9件	9件	9件	9件	指標の単年・累計の別	→		実績値	13件	5件	18件	25件		単年度計	達成度	144%	56%	200%	278%		
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																										
目標値	9件	9件	9件	9件	9件				指標の単年・累計の別	→																								
実績値	13件	5件	18件	25件		単年度計																												
達成度	144%	56%	200%	278%																														
KPI設定の根拠	民間企業の新たな投資が対象であり、不安定な要素はあるが令和2年度の実績を根拠とする。																																	
KPI目標数値の積算根拠	令和2年度に実施しているプロジェクトの中で補助金を交付し、ふるさと納税で返礼品を提供される実績を根拠としていたが、事業が年度を越えて実施されるといった実情に合わせて、補助金の交付予定の件数を新たな根拠とする。																																	
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値（R元年度）</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th rowspan="2">指標の単年・累計の別</th> <th rowspan="2">指標の傾向</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>指標の単年・累計の別</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>単年度計</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値						指標の単年・累計の別			実績値						単年度計	達成度								
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別				指標の傾向	備考																							
目標値							指標の単年・累計の別																											
実績値						単年度計																												
達成度																																		
KPI設定の根拠																																		
KPI目標数値の積算根拠																																		

令和6年度	評価（C）	<p>【6年度評価】</p> <p>担当課評価</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p> <p>これまで「#ふるさと納税3.0」を活用して事業拡大等に取り組んできた事業者の体験談、成功事例を積極的に発信してきており、他自治体の議会や職員の視察も年々増加している。返礼品提供事業者から相談があった場合には、その思いを大切にしつつ、取扱商品や寄附受入実績に応じたプロジェクト提案を促している。結果として、令和6年度は新たに22件のプロジェクトを採択し、KPI①②ともに目標値を大きく上回る件数を達成することができた。</p>
	改善（A）	<p>【7年度における取り組みなど】</p> <p>令和7年度については、総務省告示の改正等にも的確に対応できるよう、CF実施スケジュールを策定し、より効果的・効率的に事業を推進してまいりたい。また、これまでの実績等を積極的に発信し、全国各地の事業者へ「#ふるさと納税3.0」の活用を促すとともに、農産物や海産物の生産・加工等をはじめ、地場産業・地域経済の発展に寄与する新たな事業展開も検討・促進してまいりたい。</p>
	委員会意見	<p>【評価等に対する意見】</p> <p>委員会評価</p>

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	都市計画課
----------	-----	-------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	都市魅力の創出・発信
具体的施策	①定住・移住の促進
事業名	住宅総合助成事業
事業概要	【最終予算額：75,000,000円】 【決算額：61,750,000円】 ○住宅総合助成事業…本市で自ら居住する住宅を建替える場合や、新築住宅を購入し居住する場合に、泉佐野ポイントカード「さのぼ」に地域ポイントを付与するもの。 ○空家バンク制度…本市に定住希望する方に対し、登録条件を満たした空家の情報提供をし当該住宅を購入又は賃貸する場合に、泉佐野ポイントカード「さのぼ」に地域ポイントを付与するもの。

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 住宅総合助成事業による泉佐野ポイントの付与件数																																
		KPI： 5年間で800件																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>208件</td> <td>520件</td> <td>680件</td> <td>840件</td> <td>1,000件</td> <td>1,160件</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">↑</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>208件</td> <td>530件</td> <td>893件</td> <td>1,227件</td> <td>1,474件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>101.9%</td> <td>131.3%</td> <td>146.1%</td> <td>147.4%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	208件	520件	680件	840件	1,000件	1,160件	累計	↑	実績値	208件	530件	893件	1,227件	1,474件		達成度	100%	101.9%	131.3%	146.1%	147.4%	
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																								
		目標値	208件	520件	680件	840件	1,000件	1,160件	累計	↑																								
		実績値	208件	530件	893件	1,227件	1,474件																											
		達成度	100%	101.9%	131.3%	146.1%	147.4%																											
		KPI設定の根拠	<p>本市の定住・移住促進施策である「住宅総合助成制度」は、地域コミュニティの維持強化を促進する町会加入を要件とし、本制度の利用者数が定住・移住者数及び町会加入者数に直結することから、この数値を指標とするもの。</p>	<p>KPI目標数値の積算根拠</p> <p>平成27年度から平成31年度の間で新築住宅又は空家バンクに登録された中古住宅を購入し、本市に定住された実績は230件/年となっている。町会加入を条件とし、加入率を5年間の平均で70%（現在58%で、5年後に80%目標）で設定230件/年×70%≒160件/年</p>																														
		②目標事項： 空き家バンクに登録された物件数																																
		KPI： 5年間で125件																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>103件</td> <td>148件</td> <td>173件</td> <td>198件</td> <td>223件</td> <td>248件</td> <td rowspan="3">累計</td> <td rowspan="3">↑</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>103件</td> <td>137件</td> <td>148件</td> <td>155件</td> <td>168件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100%</td> <td>92.6%</td> <td>85.6%</td> <td>78.3%</td> <td>75.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値	103件	148件	173件	198件	223件	248件	累計	↑	実績値	103件	137件	148件	155件	168件		達成度	100%	92.6%	85.6%	78.3%	75.3%	
		現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																								
目標値	103件	148件	173件	198件	223件	248件	累計	↑																										
実績値	103件	137件	148件	155件	168件																													
達成度	100%	92.6%	85.6%	78.3%	75.3%																													
KPI設定の根拠	<p>空家（中古住宅）の利活用を目的とする本制度は、市が空家情報を発信し、売買契約が成立することにより、定住・移住者数の増加に直結することから、当該登録件数を指標とするもの。</p>	<p>KPI目標数値の積算根拠</p> <p>泉佐野市空家等対策計画の評価指標において、平成27年度から平成34年度の8年間で200件を設定している。200件/8年=25件/年</p>																																
③目標事項：																																		
KPI：																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値 (R元年度)</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>指標の単年・累計の別</th> <th>指標の傾向</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	目標値									実績値							達成度								
現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考																										
目標値																																		
実績値																																		
達成度																																		
KPI設定の根拠																																		

令和6年度	評価(C)	【6年度評価】	
		担当課評価	<p>平成27年5月からはじまった住宅総合助成事業は、令和2年度に町会加入を要件に追加し、KPIの見直しを行った結果、目標値を上回るものの、令和2年度から令和3年度にかけて、やや減少傾向にあった。しかし、令和4年度から、従来の定住移住促進と地域経済の活性化を進めるため要件を緩和し、一時的に申請件数は大幅に増加傾向に転じていたが、今年度はそれに落ち着きが見られる結果となった。空き家バンク制度については、令和2年度から減少傾向にあり、目標値を下回る傾向となっている。</p>
	改善(A)	<p>【7年度における取り組みなど】</p> <p>令和4年度から、従来の定住移住促進と地域経済の活性化を進めるため要件を緩和し、令和5年度から引き続き、同条件で継続し、それに伴う予算措置を行っている。また、空き家バンクについては、関連団体等の協力を得て、周知を図ります。</p>	
	委員会意見	【評価等に対する意見】	委員会評価

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分		担当課	おもてなし課								
基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる										
基本的方向	関係人口の創出・拡大										
具体的施策	④シティプロモーション活動の強化										
事業名	東京事務所運営事業										
事業概要	【最終予算額： 8,014,000円】   【決算額： 7,381,962円】										
	東京事務所の運営・調整（東京を拠点とした自治体間の交流促進、イベント開催等）。イベント内容としては、いずみさの特産品フェア（本市の特産品のPR、販売。日本遺産に登録された「日根荘」や関西国際空港のPR）や東京いずみさの会（会員同士のネットワークを形成し、交流を深める）を開催している。										
計画（P）↓実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 東京いずみさの会会員数									
		KPI： 5年後に189人									
			現状況（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	117人	141人	153人	165人	177人	189人	累計	↑	
		実績値	117人	147人	193人	445人	590人				
		達成度	100%	104.3%	126.1%	269.7%	333.3%				
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		会員数の増加により、東京での本市への認知度アップにつなげ、ひいては関係人口の増加につながるため。					毎年12人ずつ会員数が増加するように積算				
		②目標事項：									
		KPI：									
			現状況（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値									
		実績値									
		達成度									
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
③目標事項：											
KPI：											
	現状況（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
令和6年度	評価（C）	【6年度評価】									
		担当課 評価	特産品の販売や東京いずみさの会のパーティーについて、滞りなく実施することができた。また、KPIは目標値を超えたことから評価は「A」とした。								
		A									
令和6年度	改善（A）	【7年度における取り組みなど】									
		引き続きシティプロモーション活動を行い、関東圏の情報や事業活動を誘致していく。また活動に併せて東京いずみさの会の会員数も増やしていく。									
令和6年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会 評価									

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	おもてなし課
----------	-----	--------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	観光による交流人口拡充
具体的施策	③MICE誘致の推進
事業名	地方版MICE誘致推進事業
事業概要	【最終予算額：35,837,000円】 【決算額：32,801,065円】 国際空港の玄関都市という好立地を活用した地方版MICEの誘致に向け、課題等を抽出し、効果的なMICE誘致に取り組む。

計画（P） ↓ 実施（D）	目標事項・進捗状況	①目標事項： 誘致活動に伴うMICE誘致成功件数									
		KPI： 年間3件									
		現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考	
		目標値	3件	3件	3件	3件	3件	3件			宿泊を伴う100人以上の規模
		実績値	3件	0件	3件	1件	4件				
		達成度	100%	0.0%	100.0%	33.3%	133.3%		→		
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		市内でMICEが開催されることで、地域経済の活性化及び都市ブランドの確立につながるため。					R1年度誘致成功件数（3件）と同伴数				
		②目標事項： MICE開催時における市内宿泊施設への延べ宿泊参加者数									
		KPI： 年間8,000人（3年度～5年度は新型コロナウイルスの影響により目標値減）									
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値	2,226人	6,000人	6,000人	7,000人	8,000人	8,000人					
実績値	2,226人	159人	1,600人	1,713人	1,781人						
達成度	100%	2.7%	26.7%	24.5%	22.3%		↗				
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
MICE参加者に市内での宿泊を推進し、宿泊者が増加することで、地域経済の活性化につながるため。					年間延べ1万人のMICE参加者の誘致を目指し、うち8割（8,000人）の宿泊を目標値とする（3年度～5年度は新型コロナウイルスの影響により目標値減）						
③目標事項：											
KPI：											
現状値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考			
目標値											
実績値											
達成度											
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						

令和6年度	評価（C）	【6年度評価】 担当課評価 <b>B</b>	宿泊参加者数のKPI数値上では、十分な成果が出た年度であったとは、言えない年度となった。この要因として、コロナ禍にてスタート時点で乖離が生じた分をカバーできていないことが挙げられる。一方で、令和7年度の大きな国際会議も決定されるなど、一定の成果があった。
	改善（A）	【7年度における取り組みなど】 今年度は、2025年大阪・関西万博開催のインパクトを発信しながら、誘致活動に努める。	
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	おもてなし課
----------	-----	--------

基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる
基本的方向	観光による交流人口拡充
具体的施策	②観光による交流人口の拡充
事業名	eスポーツMICEコンテンツ実証事業
事業概要	【最終予算額：180,000,000円】 【決算額：147,953,395円】 「地域内外の人々の交流から、市域への人の流れを生み出し、持続可能な地域へ」という将来像を実現するため、広域交通体系が充実しているにも関わらず、通過都市となっている現状において、市域における人々の交流の増加・深化のための糸口となる新たな都市魅力の創造・発信が課題となっています。本事業は、この地域課題に対して、eスポーツを通じて人々に交流の機会を提供するほか、これを通じた人材育成等の取組みによって、交流の増加・深化を図り、上記の将来像に繋げるものです。

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 関係人口(単発の買い物、観光(観戦)以外で本市に関係した人数)																			
		KPI： 3年後に1,000人/年																			
			現状値 (R元年)	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考										
		目標値	—	—	30人	100人	100人	1,000人	単年度計	↑											
		実績値	—	—	427人	1,064人	3,016人														
		達成度	—	—	1423.3%	1064.0%	3016.0%														
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠														
		本事業は、人の交流に着目して事業を進めてきており、目指す将来像に繋げるためには関係人口の創出・深化が鍵です。そのため、この事業を通じた関係人口の増加数を把握することで事業目的に従った直接的な効果を計測できます。										市外から参加者を募集して実施する事業について、その事業規模(回数や会場サイズも考慮)から目標値を設定しました。									
		②目標事項： 交流人口(当該事業に関して、本市を訪問(単発の観戦を含む)した人数)																			
		KPI： 3年後に600,000人/年																			
			現状値 (R元年)	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考										
		目標値	—	—	2,000人	10,000人	10,000人	600,000人	単年度計	↑											
実績値	—	—	3,444人	19,671人	1,808,104人																
達成度	—	—	172.2%	196.7%	18081.0%																
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠																
KPI①の関係人口は、交流人口の上位に位置し、交流人口の増加が関係人口の増加の端緒となることから、本事業の目的に沿った効果を計測できます。										これまで行われているeスポーツのイベントの観戦数等を参考に、KPI③の大会・イベントの開催数から積算しました。											
③目標事項： eスポーツ大会・イベントの開催数																					
KPI： 3年後に50回/年																					
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考												
目標値	—	—	5回	20回	20回	50回	単年度計	↑													
実績値	—	—	10回	30回	60回																
達成度	—	—	200.0%	150.0%	300.0%																
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠																
本事業の実施にて、KPI②に掲げる交流人口を増加させるためには、新たなコンテンツの実施回数(eスポーツ大会・イベント)と相関関係があるため、その開催数で効果を計測することが出来ます。										月に1度以上の大会・イベントを開催するという目標を掲げました。											

令和6年度	評価 (C)	【6年度評価】 担当課評価 <b>A</b>	定量的なKPIは達成しましたが、事業として端緒についたばかりで、eスポーツを通じた人々の交流の定性的な関係の深化は、これからであると考えています。
	改善 (A)	【7年度における取り組みなど】 まずは、地域へ、eスポーツに対する認知や理解を高めることが肝要であると考えています。そのため、個人はもとより、地域に存在する種々の団体等へも施設利用を依頼しながら、イベント等の開催により、体験の機会を多く提供したいと考えています。また、万博という機会も活用し、MICEのコンテンツとするため、外国人を含む、市域外からの利用者・参加者の更なる増加も図ってまいりたいと考えています。	
	委員会意見	【評価等に対する意見】 委員会評価	

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

令和 6 年度分	担当課	まちの活性課
基本目標	② 定住魅力の強化により泉佐野市への新しいひとの流れをつくる	
基本的方向	観光による交流人口拡充	
具体的施策	②観光による交流人口の拡充	
事業名	「恋人の聖地」広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業	
事業概要	【最終予算額：71,581,000円】 【決算額：71,580,314円】	
	NPO法人地域活性化支援センター「恋人の聖地」プロジェクトに参画する14市町村の広域連携により、関係人口拡大を目指し、(1)ウェブ上に市町村共同の「仮想シティ」(バーチャルシティ)の開設、(2)恋人の聖地の魅力増進のためのプラットフォームの展開(3)恋人の聖地観光誘客の共同プロモーションを実施し、各地域に継続的な事業実施・自走に不可欠な中間支援組織の育成に寄与する。	

計画(P) ↓ 実施(D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 観光入込数									
		KPI： 5年後に3,200,000人									
			現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考
		目標値	—	—	2,300,000人	2,500,000人	2,750,000人	3,000,000人	累計	↗	
		実績値	—	—	3,380,912人	4,161,485人	4,496,707人				
		達成度	—	—	147.0%	166.5%	163.5%				
		KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠				
		滞在エリア・定住エリアとして選出される市町村選考において、観光入込数は取り組み成果に相関する重要な指標となるため。					連携自治体における観光入込数の合計値により算出				
		②目標事項： 仮想市民登録者数									
		KPI： 5年後に4,900件									
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	—	—	1,820人	2,380人	2,800人	4,200人	累計	↗			
実績値	—	—	1,917人	2,497人	2,873人						
達成度	—	—	105.3%	104.9%	102.6%						
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
仮想市民登録者数は関係人口の創出を図る入口指標となり、また、継続的な事業実施により費用対効果を図ることができるアウトカム指標となるため。					プラットフォームサイトである「恋人の聖地CITY」において市民登録された合計値により算出						
③目標事項： 地方志向者の魅力度数											
KPI： 5年後に3%											
	現状値 (R元年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	指標の単年・累計の別	指標の傾向	備考		
目標値	—	—	3%	3%	3%	3%	単年度計	→			
実績値	—	—	21%	7.0%	3.0%						
達成度	—	—	700.0%	232.0%	100.7%						
KPI設定の根拠					KPI目標数値の積算根拠						
継続的調査により算出した魅力度数は、関係人口の拡大等地域事業の活性化や問題の解決につながる直接的指標となるため。					プラットフォームサイトでのアンケート調査により算出						
令和6年度	評価(C)	【6年度評価】									
		担当課評価	WEB上に「恋人の聖地」プロジェクトに加盟する14市町村共同の仮想シティ「恋人の聖地CITY」(バーチャルシティ)を事務局が引続き企画運営し、各市町村の観光や定住促進などの情報を共同仮想シティポータルサイトへ掲載させ、仮想シティへの訪問者や住民登録者等への情報発信が図られた。また、スマホを活用したスタンプラリーを実施し、各市町村のリアルなスポットを回遊するイベントも企画され、交流促進が図られた。そのほか、各市町村において恋人の聖地の共同プロモーションを実施し、関係人口拡大に向けた取組みが行われ、各KPIにおいて目標値の達成につながった。								
		A									
令和6年度	改善(A)	【7年度における取り組みなど】									
		連携する14市町村共同の仮想シティ「恋人の聖地CITY」を引続き活用し、連携する各市町村が積極的に周知をして呼び込み、各市町村の魅力を発信して関係人口の拡大を図っていく。また、各市町村において恋人の聖地の共同プロモーションが引続き実施されることから、引続き連携し関係人口の拡大に繋げていく。									
令和6年度	委員会意見	【評価等に対する意見】									
		委員会評価									

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。